

ISO/TC 184/SC 4 国内審議団体事業

事業概要

継続

標準化分野

事業略称	ISO/TC184	期間	2014～	予算元	推進協議会会員会費	事業形態	任意
概要	<p>ISO/TC 184(オートメーションシステム及びインテグレーション)の国内審議団体の運営を行う。SC 4(産業データ)については、2021年4月より、(一社)日本自動車工業会(JAMA)等が参加するものづくり標準データ推進協議会を2021年度より発足し、ISO/TC 184/SC 4推進協議会に代わり、ISO/TC 184/SC 4国内対策委員会の国際標準化活動を引き続き支援している。ものづくり標準データ推進協議会では定期的に定例技術委員会を開催し、産業データに関する国際標準化適用の観点で活動を実施している。</p>						
ゴール	ISO/TC 184国内審議団体の運営を実施する。						

2022年度 計画(左)／活動報告(右) [(MSD)予算1.7／決算1.2百万円、(浜松総会)予算3.8／決算3.2百万円]

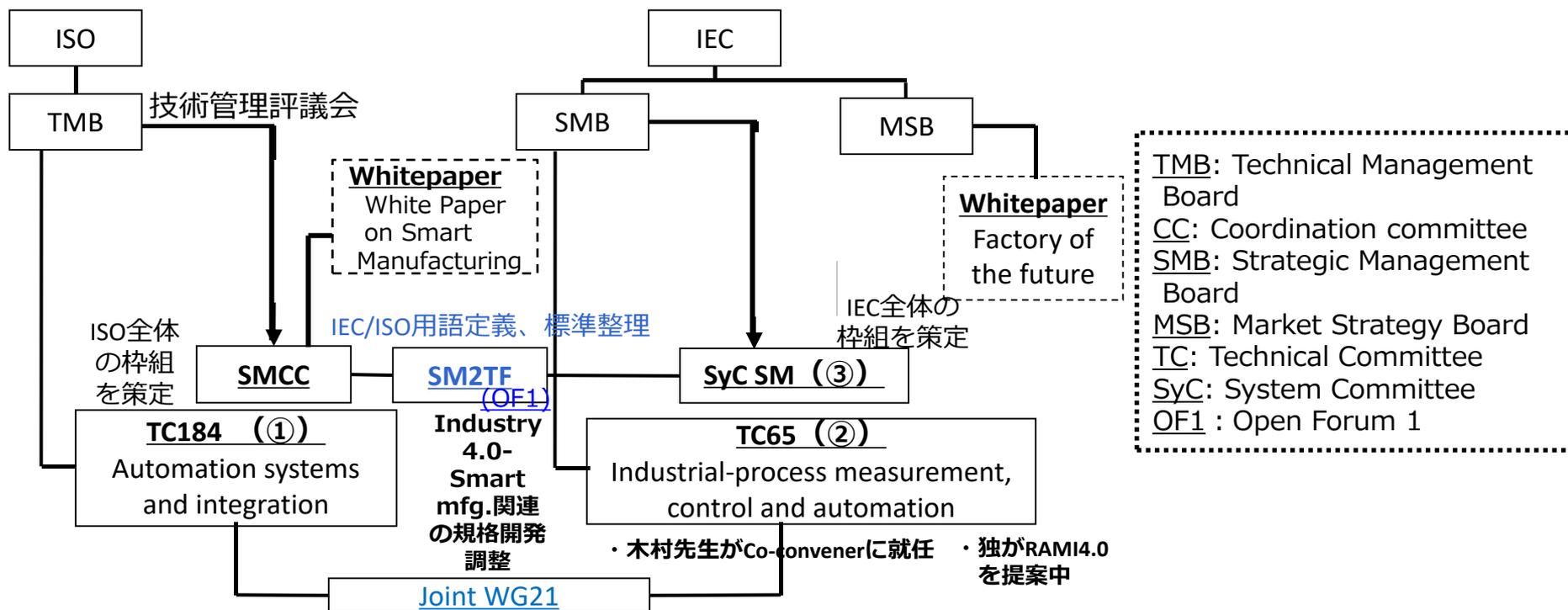
・産業オートメーション標準化推進委員会(IASP) TC 184関連活動状況の共有、投票案件の審議	産業オートメーション標準化推進委員会を開催し、TC 184関連活動状況の共有、投票案件を審議した(5/30)。
・ISO/TC 184/SC 4国内対策委員会 SC 4関連の規格開発、国際会議報告・投票案件を審議	SC 4国内対策委員会を開催(5/6,5/26,10/11,11/17)し、SC 4国際会議(5月,11月@浜松)の報告・投票案件を審議した。 ISO 10300-62規格開発 (METI事業：EQVv2)
・ISO/TC 184/SC 5国内対策委員会 SC5関連の規格開発、投票案件の審議	SC5関連の規格開発、投票案件を審議した。 ISO 20140-5規格開発 (METI事業：環境影響評価) ISO 16400-4規格開発 (METI事業：動的装置モデル) ISO 16518規格開発 (METI事業：協力ネット)
・ものづくり標準データ推進協議会(MSD) デジタルデータ流通に関する活動検討	SC 4国内対策委員会の支援と協議会活動の活性化を検討。 総会(6/9)、幹事会(5/26,9/1,12/1,2/2)、定例技術委員会(3回)
・Plenary Meeting (浜松総会)	10/30-11/4に開催し、WG毎に規格内容を審議した。また国際シンポジウムを併催。METI事業(EQVv2)では提案内容が審議され、承認された。

ISO/TC 184/SC 4 国内審議団体事業

2022年度成果

- ISO TC184関連国際会議に委員を派遣するとともに、国際規格開発に対する国内の対応・意見を纏めるため各種国内対策委員会を開催し、国際会議での議論、国際規格投票へ反映
- Industrie4.0 & Smart Manufacturingの国際標準化の議論が進む中、ISO SMCCとIEC SyC SMとのJoint Task Force (OF1: 旧SM2TF)、ISO/TC 184とIEC TC65とのJointWG21 (Smart Manufacturing Reference Model(s)) に、委員を派遣し、直接的かつタイムリーに情報を収集し対応

ISO/IECにおけるインダストリ4.0及びスマートマニュファクチャリング関係の組織



①の国内審議団体はMSTC、②の国内審議団体はJEMIMA、③の国内審議団体はRRI。

SMCC : Smart Manufacturing Coordinating Committee、SyC SM:Systems Committee Smart Manufacturing

SM2TF : Smart Manufacturing Standards Mapping Task Force